

第3学年 学級活動（1）指導案

日 時 令和7年11月14日（金）2校時

場 所 3年教室

児 童 3年1組 34名

指導者 教諭 守屋 恵里

1. 議題

会社フェスティバルをひらこう！

（ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決）

2. 議題について

（1）児童の実態

本学級の児童は、2年生の時に「会社フェスティバル」を経験しており、「楽しかった」「もう一度やりたい」といった前向きな思いを抱いている。1学期には、クイズ会社が遠足のバスレクリエーションを企画したり、誕生日会社が計画的に誕生者を祝ったりするなど、昨年度の学びを生かした活動も見られた。しかし、会社活動に主体的に取り組んだ児童は学級の約3分の1にとどまり、学級全体としては活動が停滞している状況であった。

学級会については、1学期には、「はなまる遊び（ご褒美遊び）」や学期末のお楽しみ会の内容を話し合い、決定する学級会活動を行った。初めの頃は、自分の意見に強くこだわる児童の姿が見られ、話し合いが停滞する場面もあった。しかし、回数を重ねる中で、互いの意見を聞き合いながら合意形成を図る姿が少しずつ育まれてきた。意見の出し合いにおいては、発言量に個人差があり、積極的に話す児童とそうでない児童の差が見られる。また、話し合いの終盤になると集中力が続かず、最後まで主体的に参加することが難しい児童もあり、今後の課題となっている。

今回の学級会においては、できるだけ多くの児童が自分の考えや意見を持ち、議題を自分事として捉えながら、主体的に話し合いに参加できるようにすることを目指す。また、話し合いを通して決定したことを学級全体で実践し、達成感や満足感を味わうことで、活動への意欲を高めるとともに、新たな課題を見つけ出し、次のよりよい話し合いや実践へとつなげていけるようにする。

（2）議題設定の理由

本議題は、「会社フェスティバルをやりたい」という児童の意見をきっかけに、他の児童の賛同を得て設定されたものである。昨年度のフェスティバルの経験が、児童の強い思いとして残っていることがうかがえる。一方で、1学期の会社活動が停滞していた様子からは、その経験が日常的な活動の活性化にはつながっておらず、「フェスティバル＝特別なこと」として切り離されてしまっている現状が見られる。

そこで、会社フェスティバルを「楽しかった」で終わらせるのではなく、意味のある学びへと昇華させるために、活動後の振り返りを丁寧に行い、児童の気付きや成長につなげていきたい。話し合い・実践・振り返りのプロセスを通して、会社活動を自分たちの意志で主体的に取り組むものとして捉え直し、日常の活動の活性化を図ることを本議題のねらいとする。

3. 第3学年及び第4学年の評価規準

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通した思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
- みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 - 意見の比べ方やまとめ方を理解し、合意形成の方法を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲良く助け合って実践している。	楽しい学級生活を作るために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団生活に取り組もうとしている。

4. 活動計画

【議題の選定に関わる活動】

日 時	児童の活動	・指導上の留意点	◎評価【評価方法】 ☆研究の視点
11月5日(水) 業間休み 【計画委員会】	- 集まった議題案の中から、議題を選定する。 〈提案された議題〉 「会社フェスティバルをひらこう！」	- 議題としてふさわしいかどうか、議題選びの条件に沿って検討する。 - 決定された議題における「なりたい姿」をおさえる。	◎ よりよい学級生活をつくるために、進んで議題を検討しようとしている。 主【観察】 ☆ア
11月5日(水) 帰りの会 【全員】	- 議題を決定する。 「なりたい姿」を共有する。	- 計画委員会の提案のもと、学級全員で決定する。 - 活動の目的と願いを共有することで、目指す方向性「なりたい姿」が明確に捉えられるようにする。 「もっと SMILE」 ・やってよかった！ ・楽しかった！ ・もっとがんばろう！	◎ 学級生活をよりよくするために、提案された議題の趣旨を捉えたり、学級の「なりたい姿」について考え理解したりしようとしている。 主【観察】 ☆ア

【話し合いに関わる活動】

日 時	児童の活動	・指導上の留意点	◎評価【評価方法】 ☆研究の視点
11月6日(木) 昼休み 【計画委員会】	- 学級会の役割分担を確認する。 - 活動計画を作成する。(提案理由、めあて、話し合うこと、決まっていること等の確認)	- 提案者の思いや願いを学級全体の共同の問題になるように、提案理由をしっかりと深めるようにする。 - 学級の「なりたい姿」を確認しながら進める。 - 実態を踏まえ、日時や場所などの条件を教師が設定する。	◎ 計画委員会の役割、フェスティバルや学級会における目的を理解している。 知【活動計画、観察】 ☆ア

11月7日(金) 朝の会 【全員】	・学級会ノートに自分の考えを記入する。 「どんな工夫をするか」	・話し合うことや決まっていることが共通理解できるよう必要に応じて助言する。 ・記入する考えは、各会社における工夫ではなく、全体に関する工夫であることを抑える。	◎「会社フェスティバル」の目的に合った意見を考え、ノートに書いている。 思 【学級会ノート】 ☆イ
11月10日(月) 業間休み 【計画委員会】	・学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。	・出された意見から話し合いの見通しがもてるようにする。 (分類・整理)	・見通しをもち、進行や物の準備をしている。
11月11日(火) ～13日(木) 業間休み 【計画委員会】	・進行練習や短冊等の準備、リハーサルを行う。	・学級会が円滑に進むようにイメージをもったり準備をしたりするように促す。	知 【活動計画、観察】 ☆ア
11月14日(金) 2時間目(本時) 【全員】	議題 「会社フェスティバルを開こう！」	・計画委員の運営に沿って、全員が話し合いに参加するように、必要に応じて助言する。 ・会社フェスティバルが「もっと SMILE」になるような合意形成ができるようにする。	◎みんながもっと SMILEになるフェスティバルになるように考え、理由などを比べ合いながら話を聞いたり自分の意見を発言したりして話し合っている。 思 【学級会ノート、観察】 ☆イ ◎話し合いの経験を生かして、合意形成を図るための話し合いの進め方や約束を理解している。 知 【観察】 ◎めあてを意識して考えたり話し合ったりすることができたかどうか、自己を振り返っている。 思 【振り返りカード】 ☆イ、ウ

【話し合い後の活動】

日 時	児童の活動	・指導上の留意点	◎評価【評価方法】 ☆研究の視点
12月3日(水) (会社フェスティバル) 3・4時間目 (振り返り) 帰りの会 【全員】	・活動の目的に沿って実践する。	・決まったことや「もっと SMILE」という思いを大切にしながら活動するように助言する。 ・振り返りカードを用いて「なりたい姿に近づけたか」という観点をもとに実践を振り返り、フェスティバルの成果と課題、自己の気づき	◎フェスティバルにおいて、楽しむことができるように実践し、よかったことや改善したいことを振り返り、次に生かそうとしている。 主 【観察】 思 【振り返りカード】 ☆ウ、エ

		や成長を明確にすることができるようになる。 ・児童の振り返りや実践の様子を写真の掲示することにより、「なりたい姿」の深まりを実感することができるようにする。	
--	--	---	--

5. 本時の展開

(1) 本時のねらい

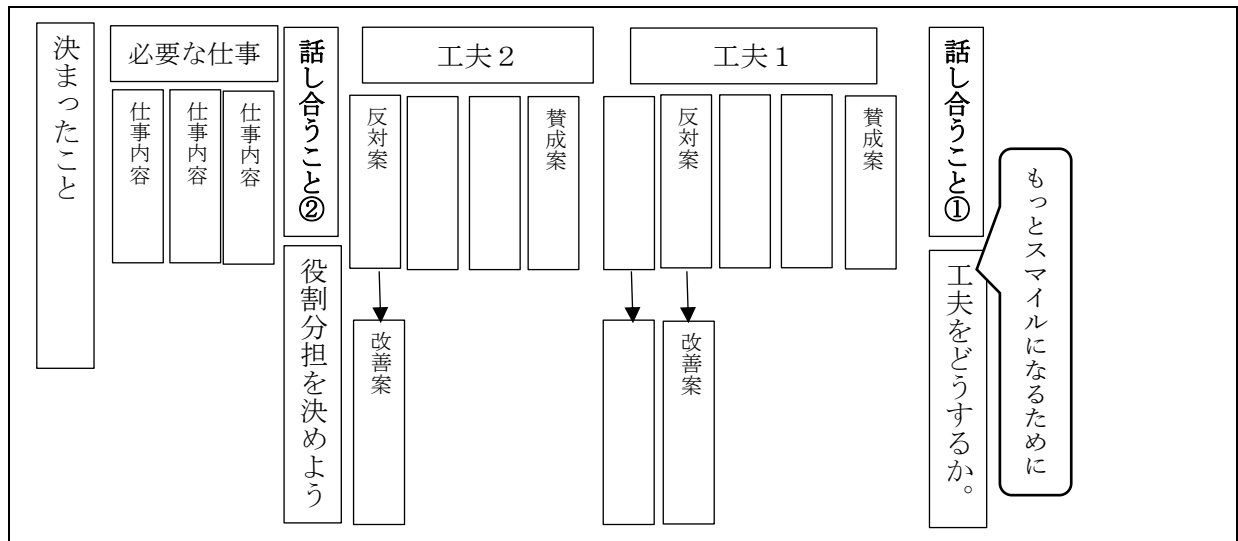
学級生活をより楽しく豊かなものにすることを旨とし、多様な考えを受け止めながら、互いの思いや考えを理解し合い、議題について決定できるようにする。

(2) 展開等

議 事 (時間)	児童の活動	指導上の留意点	◎評価【評価方法】 ☆研究の視点
1 はじめの言葉	・司会の合図で学級会を開会する。		
2 司会グループの紹介			
3 議題の確認	・議題を確認する。		
4 提案理由とめざす姿の確認	議題「会社フェスティバルをひらこう！」		
	・提案者の思いを共有する。 フェスティバルを工夫して行うことで、会社活動を更に盛り上げ、楽しい学校生活にしていきたい。 ・会社フェスティバルを通して、会社活動のよさがわかる。 キーワード ・もっと SMILE !	・めざす姿とキーワードを示すことにより、話し合いの目的がぶれないようにする。 ・児童が自分たちのめざす姿をイメージしやすくなるよう、キーワードを児童の言葉で表すようにする。	
5 決まっていることの確認	・決まっていることを確認する。 ・実施日時 12月3日 3・4校時 ・場所 3年教室 ホール	・決まっていることを確認することで、内容等を決める際の判断ができるようにする。	
6 話し合いのめあての確認	めあて ● 「もっと SMILE」になるフェスティバルの内容を考えよう。 ● 友達の考えと比べながら、進んで発言しよう。		

7 先生から		・キーワードを具体的に示すことで、自分たちがどんなフェスティバルにしたいかをイメージしながら「なりたい姿」を意識して話し合えるようにする。	
8 話し合い 話し合うこと① 「どんな工夫をするか」 話し合うこと② 「役割分担」 (27 分)	・事前に出された意見について、質問、賛成・反対の理由を出し合いながら話し合う。 ・自分の意見と比較しながら発言する。 ・黒板書記は、カードを整理する。 ・キーワードをもとに話し合う。 ・決め方を確認して内容を決定する。 ・②においては、①で決まったことを下に、必要な役割を出し合い分担する。	・「話し合い」段階から進められるよう、事前に短冊を黒板に掲示しておき、出された意見を共通理解できるようにしておく。 ・児童の提案をもとに、取り入れるかどうか理由を踏まえて検討し、合意形成を図る話し合いを行う。 ・話題が反れたり、否定的な意見ばかりになったりしたときは、支援することで話し合いが円滑に進むようにする。	◎ みんながもっと SMILE になるフェスティバルになるように考え、理由などを比べ合いながら話を聞いたり自分の意見を発言したりして話し合っている。 思 【観察・学級会ノート】 ☆イ ◎ 話し合いの経験を生かして、合意形成を図るための話し合いの進め方や約束を理解している。 知 【観察】 ☆イ
9 決まったことの発表	・副司会が決まったことを発表する。	・話し合いの目的や決まったことを振り返ることで、「なりたい姿」に近づく選択ができたことを実感できるようにする。	
10 振り返り	・振り返りの観点に沿って振り返る。 ① もっと SMILE になる内容を考えることができたか。 ② 友達の考えと比べながら、進んで発言することができたか。		◎ めあてを意識して考えたり話し合ったりすることができたかどうか、自己を振り返っている。 思 【学級会ノート】 ☆ウ
11 先生のお話		・議題と提案理由に沿って話し合っていたことを称賛し、次回に生かせるようにする。	
12 おわりの言葉	・司会の合図で学級会を閉会する。		

(2) 板書計画



ホワイトボード計画（黒板横に設置）

